

日本貿易学会会員業績目録の発刊にあたって

日本貿易学会
会長 山田 晃久

10余年ぶりに会員の皆様の業績目録が発刊できましたことは、誠に喜ばしいかぎりです。

バブル崩壊後において日本の経済が低迷し不良債権処理問題、構造改革、デフレ問題などが山積しておりますが、これらの国内経済の諸問題はグローバル化が進んだ世界経済と常に連動しているといえます。

急激な外部環境条件の変化に伴い、我々の研究対象も単なる貿易のみではなく、投資、金融、政治、法律、社会等の問題とも関連し、より広範囲にわたる学際的研究が要請される時代に入っております。このような観点からして、会員の皆様が本業績目録を参照され、相互に意見を交換し、時には共同研究や政策提言に発展させるなどに役立てられることもできましょう。

最後に、本業績目録を発刊するにあたってご苦勞された委員の方々、編集完了までご足勞をおかけした事務局担当の小林 晃先生と理事の林 忠昭先生に対して深謝申し上げる次第であります。

2003年2月17日

日本貿易学会会員業績目録（著書・論文および研究の動向）の 発刊にあたって

会員著作・論文等業績委員会
委員長 来住 哲二

会員の皆さんの御協力により、会員業績目録を発刊することができました。本業績目録は、1990年1月から2002年3月まで公刊された研究に関する「著書」、「論文」、、「翻訳」、「辞典類」、「研究ノート」および「資料」に限定されています。ただ会員に提出していただいた業績内容にバラツキがありましたため、本委員会では編集の段階で整理させていただき、再度、各会員に点検していただきました。

削除した方がよいところもありますが、今回は提出者の意向を尊重させていただきました。それならもっと多く書いておくべきであったと思われる会員の方もおられると思います。次回は執筆していただく業績内容の範囲をもっと明確かつ徹底させ、より良いものになりたいと思っています。また未提出の会員の方々にも是非提出していただき、さらに充実した業績目録になることを望んでおります。

最後に原案作成から発刊まで色々と御世話下さった委員の方々、さらに編集にあたっては長期間にわたり御苦勞をおかけした、事務局担当小林 晃先生、および理事林 忠昭先生に対し、心から感謝の意を表します。

2003年2月20日

凡 例

1. 本業績目録は、日本貿易学会会員の公刊された著書、論文等を広く公開する目的で作成されたものである。
2. 本業績目録は、1990年1月から2002年3月までに公刊されたものに限定している。
3. 本業績目録は、学会報告、講演会、発表レジメ、新聞・週刊誌・社内報に掲載されたもの、および2ページ以下のものは掲載していない。
4. [著書] [共著] [翻訳] [辞典類] は、総ページを記載している。
5. [共著] は、分担執筆部分が30ページ以上であることが条件で、未満の場合は[論文]等としている。
6. [論文] [研究ノート] [資料]等は、雑誌名と掲載ページを記載している。
7. 掲載雑誌は初出の場合に完全なものを記載しているが、第2回目以降は雑誌名、巻、号のみとなっている。
8. 日本貿易学会年報は、JAFT、JAFTAB（第39号）と表記している。
9. [論文] [翻訳] [辞典類]等が共著である場合には、末尾に（共）と示されている。
10. 『 』、「 」は、特に必要な場合以外は省略している。
11. 発表年、月は西暦に統一している。
12. 編集の段階でおおまかな整理を行っているが、最終的な判断は、会員ご本人にお任せしている。